

長野県下伊那農業高等学校 [全日制課程] の「3つの方針」

～豊かな人間性を育むいのちの教育～

<生徒育成方針>

- ◎地域の農業高校として、農業の未来を担う人と地域で活躍する人を育てます。
- ◎「いのちに触れ、いのちを育み、いのちに学ぶ」教育を通して、豊かな感性や人間性、生きる力を育てます。
- ◎「農業を学ぶ」「農業で学ぶ」ことを通して、思考力・創造力・活用力を培うとともに、実践的な課題解決力や未来に向けて学び続ける姿勢を育てます。

<教育課程編成・実施方針>

- ◎実践的体験を通して、いのちの大切さや尊さを学び、豊かな人間性を育むいのちの教育を行います。
- ◎基礎・基本を重視した教科学習を基盤とし、4学科（アグリサービス科、農業機械科、園芸クリエイト科、食品化学科）の特色を活かした先進的な専門教育を行います。
- ◎グローバルな視野で考え、ローカルに活動できる人材を育成するグローバル教育を行います。
- ◎コース学習やグループによる協働学習、学科間や教科間の横断的学習、進路に対応した選択制などにより、学びたいことや関心に応じて探究的に深く学ぶ教育を行います。
- ◎南信州全域を学びのフィールドとし、地域の専門家からの指導や地域の関係機関と協働した学習など、社会に開かれた地域連携教育を行います。
- ◎専門分野やその関連分野の資格取得を推進すると共に、産業現場等での実習や研修を推進するキャリア・インターンシップ教育を行います。
- ◎ホームルーム活動や学校行事、生徒会活動、農業クラブ活動、部活動等を通して、自主的・自律的な態度と社会性を養う主体性を育む教育を行います。

—評価—

学習評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で総合的に評価します。具体的には、各学期の定期テスト、単元ごと等の小テスト、レポート・課題、作品制作、探究活動、発表・プレゼンテーション、教科学習にかかわる検定・資格取得、ポートフォリオ（学習過程や実践の記録）等による学習の自己マネジメント、授業（座学、実験・実習）に取り組む態度等により評価します。

<生徒募集方針>

本校では「いのち」そのものが学ぶ対象であり、教育活動の根底にはいのちの尊重、いのちへの感謝があります。そして、「農業を学ぶ」だけではなく、「農業で学ぶ」ことを通して、農・食・環境・保育・車など幅広い分野を学習することができ、実社会で生かせる様々な力をつけることができます。

こうした本校の教育理念や特色を理解し、明確な目的と高い関心を持った、以下のような生徒の入学を待っています。

- ◎動物や植物が好きで、農業や食、環境に関心がある生徒
- ◎自分の夢をかなえるために努力する生徒
- ◎農業分野や関連分野で活躍したい生徒
- ◎将来、この地域で活躍したい生徒